

平成 年 月 日

日本学術会議
会長 大西 隆 殿

(学術研究団体名)
(代表者名)

印

平成 3 1 年度共同主催国際会議申請書

下記の国際会議が日本で開催されることが決定しましたので、貴会議が同国際会議を（学術研究団体名）と共同して開催されるよう申請します。

記

平成 3 1 年に共同主催を希望する国際会議の概要

会 議 の 名 称	和文： 第■回国際○○○学会議 英文： THE Xth International Conference ○○○（略称：ICO）
開 催 時 期	平成××年××月××日 ～××月××日（×日間）
開 催 場 所	○○県○○市（国立○○会館、○○○○○ホテル）
主 催 団 体	○○法人日本○○学会、日本学術会議（希望）
後 援 等 団 体	（協賛）日本○○機構（予定） 等 （後援）○○省、○○県、○○市、△△学会、□□研究所 等 ※多い場合は主要なもののみ記載。
母 体 団 体	和文： 国際○○○学会 英文： International Society of ○○○（略称：ISO）
参加予定者数等	国外 ○人 国内 ○人 計 ○人 [○ カ国・地域]
会 議 使 用 言 語	英語（同時通訳：有 開会式のみ）
会 議 概 要 （会議の意義・目的や日本開催の経緯等について簡潔に記載。）	第■回国際○○○学会議は、国際○○○学会が▲年ごとに開催する国際会議であり、19××年の第 1 回から当会議で■回を迎える、○○○学分野で最も歴史のある国際会議である。 日本での開催は、第◆回以来、○年振り、○回目の開催となる。 ○○○学は、□□の基礎要素である△△の中核を成し、○○の少数多体系である○○を研究する学問である。近年は、高温・高密度状態の○○物質や○○における○○合成過程の研究が著しい発展を遂げている。 ○○○学は、……における日本の研究水準を高め、世界における……に対して多大な貢献をしており、今後の……について大きく期待されている。 この度の第■回国際○○○学会議では、「21 世紀における……の新潮流」をメインテーマに、○○を越える○○、○○の○○力学、○○構造、○○中での○○の性質の応用等を主要題目として、研究発表と討論が行われることとなっている。 この会議を日本で開催することは、我が国で……中の○○を全世界の研究者に大きくアピールし、多くの研究者の参画を促す絶好の機会となり、我が国の○○○学に関する研究を一層発展させる契機となる。

	市民公開講座は〇月〇日に「・・・の未来と展望」というテーマで開催される予定である。〇〇の研究が身近な生活の中でどのような効果を発揮しているか、今後どのように発展し未来に役立てていくか等を分かりやすく説明する。
開催経費の財源 [募金団体]	参加費 21,800 千円 助成金 3,500 千円 寄付金 600 千円 その他 1,200 千円 計 27,100 千円 (財) 日本〇〇財団
連絡先 (氏名・所属・肩書・住所・電話番号等)	氏名: 〇〇 〇〇 (所属・肩書 〇〇大学大学院◇◇学研究科◆◆◆◆専攻 教授) 住所: 〒113-〇〇〇〇 東京都〇〇区□□1-5-45 電話番号: 03-◇◇◇◇-●●●● E-mail: aaaa.aaaaaa@aaa.go.jp
提出資料 (申請時に作成が可能な資料がある場合は、チェックして下さい。様式任意。)	☐ 会議内容 (会議の構成、主要プログラム、展示・一般向けプログラムの有無等を記載) ☐ 日程表 (表形式にし、午前・午後、夜の別に内容を記載) ☐ 会議プロシーディングス (印刷及び配布方法を明記) ☐ 著名な国外・国内参加者 (氏名、所属、受賞歴等) ☐ 組織委員会の構成等 (発足年月日、学術研究団体との関係等) ☐ 会議の主題となる学問分野及び近年の研究成果に関する資料 ☐ 会議の収支予算書 ☐ その他の資料 ()

※現時点で未定の場合は、未定である旨記載してください。

※提出資料欄でチェックした資料については、審査の過程で提出をお願いする場合があります。